

# ドキュメント共有・ペーパーレス会議 スマートセッションご紹介

日本インフォメーション株式会社

2014年4月01日

## はじめに ～ペーパーレス会議導入のメリット～

---

### □ 会議の準備に手間がかかりません

- 印刷・製本・配布・回収が不要になり、直前の差替にも素早く対応できます

### □ セキュリティ面も安心です

- 紙に印刷しないため、**紛失や情報漏えい**の心配がなくなります

### □ コストの削減

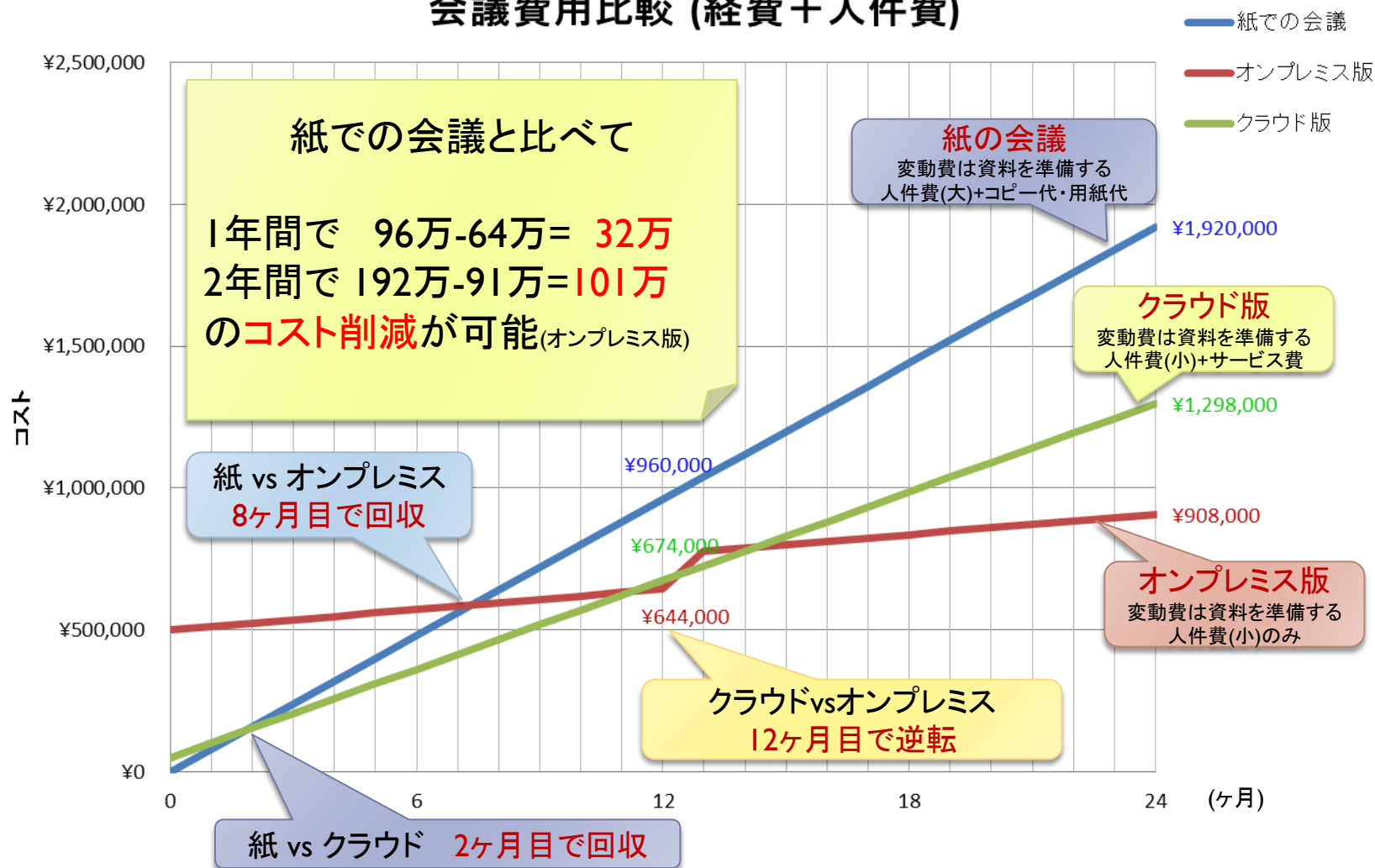
- 紙のコスト、COPYのコスト、保管のコストのみならずその作業を行う**人のコスト**を削減します

# 会議費用の比較

## 【前提条件】

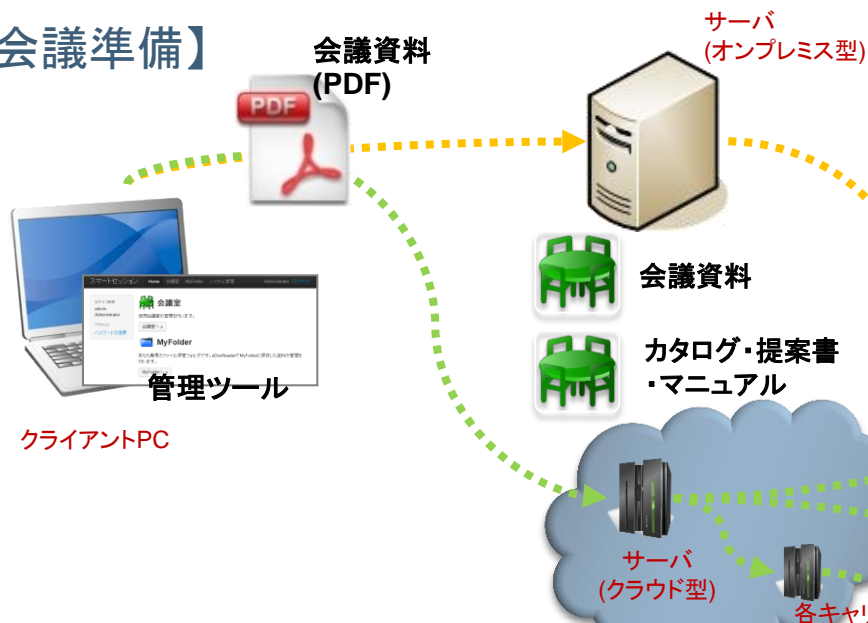
- ・20人の会議を毎週行い、1回100枚(内カラー10%)程度
- ・カラー @20円 白黒 @3円
- ・クラウド版は40,000円/月額 と仮定(初期費用50,000円)
- ・オンプレミス版は2年目以降保守契約(任意)に入った場合

## 会議費用比較 (経費+人件費)



# タブレットを使用したペーパーレスとは

## 【会議準備】



## 【ペーパーレス会議システムの主な特徴】

- ① 会議の参加者は手元の端末画面を使って資料を閲覧します。
- ② 会議資料(PDF)はサーバで一元管理するため、準備が簡単です。
- ③ 説明者の見ている資料は、参加者が操作しなくても参加者の手元の画面に表示することができます。
- ④ 参加者は説明者の操作とは別に資料の拡大・縮小や他のページの参照ができます。
- ⑤ 端末には資料が残らず、メモ書き資料を取り出せますので、セキュリティも安心です。

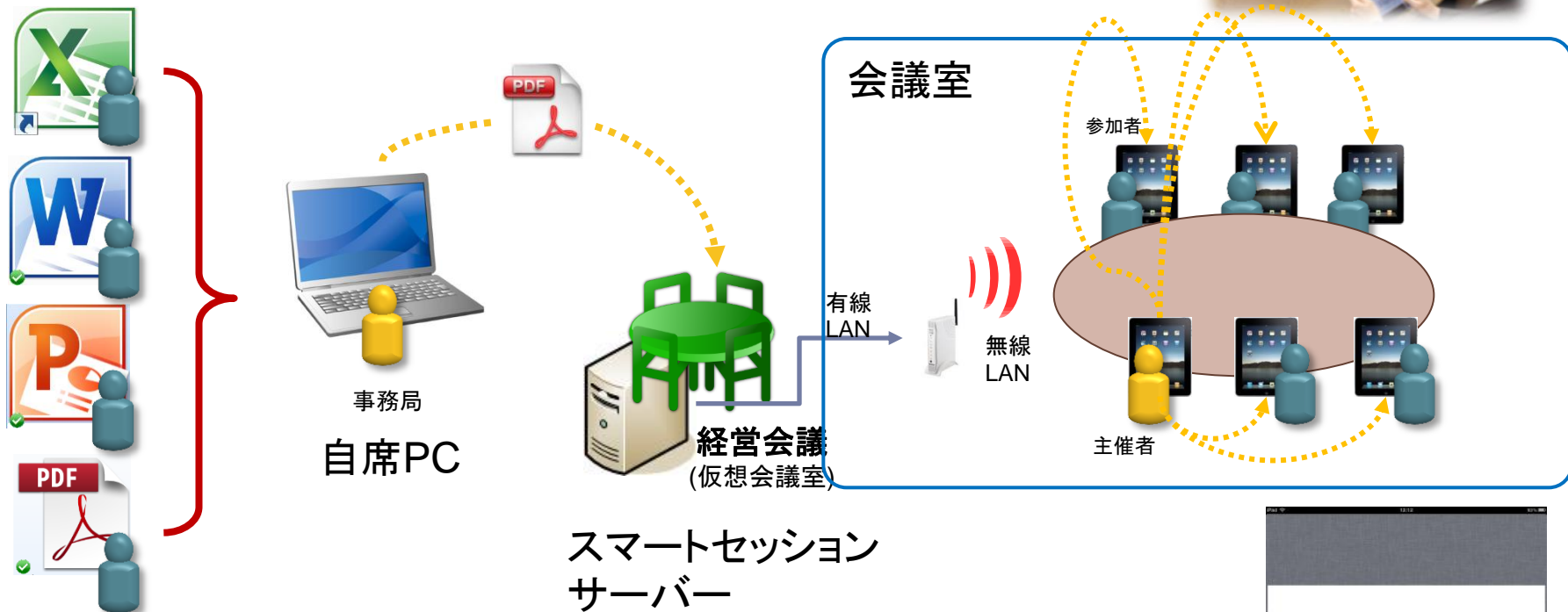
## 【会議】



# スマートセッションの特徴

- ▶ 強固なセキュリティで端末に書類を残しません
  - ▶ 端末に書類を一切残さない運用が可能
  - ▶ ユーザーID・Passwordの認証と共に端末による認証(チケットの認証)を行うことで2軸による認証が可能
  - ▶ LDAP(AD)サーバーとユーザー認証の連携が可能(オプション)
- ▶ 導入規模に応じた柔軟な利用形態に対応
  - ▶ 自社内にサーバーを構築するオンプレミス版やインターネット接続環境で手軽に利用するクラウド版まで利用シーンに合わせて導入形態を選択可能
  - ▶ 会議室内にノートPCと無線AP、iPadを持ち込めば社内のネットワークに接続することなく利用可能(閉じたネットワークで利用可能)
- ▶ 多彩で豊富な機能
  - ▶ 参加者は誰でも説明者としてページ連動の主導を持つことが可能
  - ▶ 書類に個人別メモが書き込め、サーバーの個人領域(MyFolder)に保存可能
  - ▶ 利用者のリテラシーに応じて利用方法を選択可能(シンプルモード)
  - ▶ 豊富なオプションで機能拡張可能(メール送信、投票機能、ライブラリ機能)

# 主な利用シーン (経営会議・役員会議・教授会)



資料作成者

## 【役員会議・経営会議で使用】

- ① 事務局は資料をPDF化して「経営会議」に入れば準備完了
- ② 機密資料は端末にダウンロードできないためセキュリティ面でも安心
- ③ シンプルモードを使用すれば簡単に説明者のページが手元に表示

(会議参加者は2タッチするだけ)

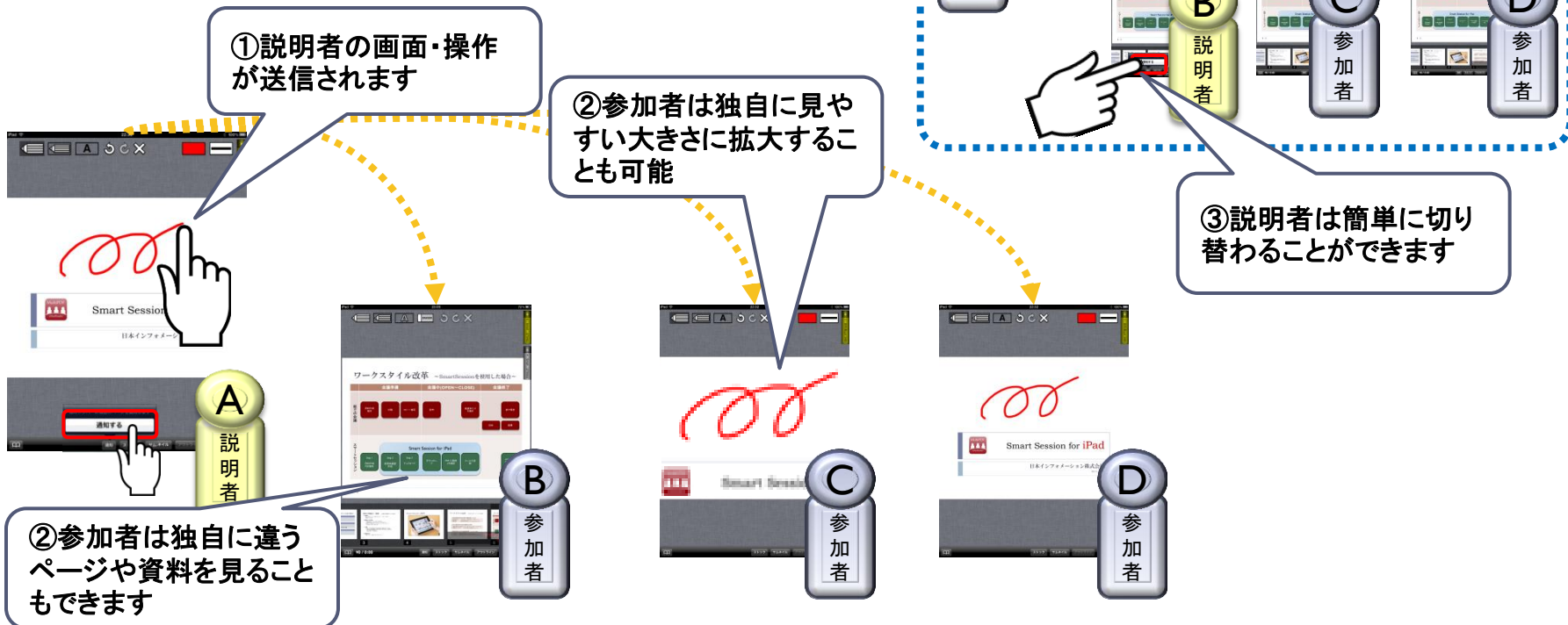


シンプルモード

# 1. 簡単な操作

## ～通知による画面操作の同期～

- ①説明者の画面・操作が参加者の画面に反映
- ②参加者は自分で見たい資料・ページを自由に見ることも可能であり、また、参加者は独自に見やすい大きさに拡大して見ることも可能
- ③説明者は「通知」や「割込通知」によって簡単に切り替わることができます



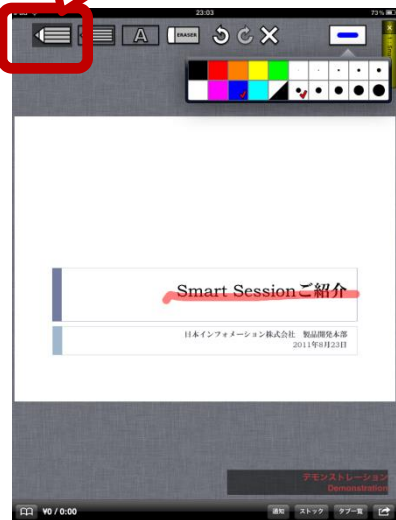
説明者(プレゼンター)が「通知」することで手書き・ページめくり・拡大・縮小などの操作が参加者の画面に同期されます

# 1. 簡単な操作

## ～多彩な手書きモード～

### 【通常の手書き】

書類に直接手書きすることが出来ます



手書きマーク

### 【拡大鏡手書き】

拡大鏡の中に手書きすることが出来ます



拡大鏡手書きマーク

### 【キーボード入力】

書類にキーボード入力  
で文字を入力することが  
出来ます



キーボード入力マーク

保存先は書類のセキュリティ  
レベルに応じて異なります

### 通常 レベル



手書きマーク

Documents  
(端末内に保存)

### オンライン専用



MyFolder  
(サーバーの  
個人別エリア  
に保存)

手書きしたメモはPDFに上書きして保存することが出来ます





## 2.柔軟なセキュリティ

- ①.端末に資料を残さない設定が可能です
- ②.セキュリティ設定により会議資料を守ります



### 仮想会議室



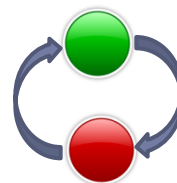
 **【資料を限定】**  
端末にはダウンロードできない書類の設定が可能です。  
 ダウンロードできない書類は会議の開催中しか閲覧出来ません。

「会議室」に入室出来るのは

- ①「参加者として登録」され、
- ②「参加資格(有効なチケット)を持った端末」から、
- ③「会議の開催期間」のあいだけ入室し資料を閲覧することが可能です。



**【参加者を限定】**  
参加者として登録したメンバーのみが会議室に入室出来ます。



**【期間を限定】**  
主催者は会議室の時間帯だけ会議室をOPENし会議が終了したらCLOSE出来ます。資料の閲覧時間をコントロールできます

チケット



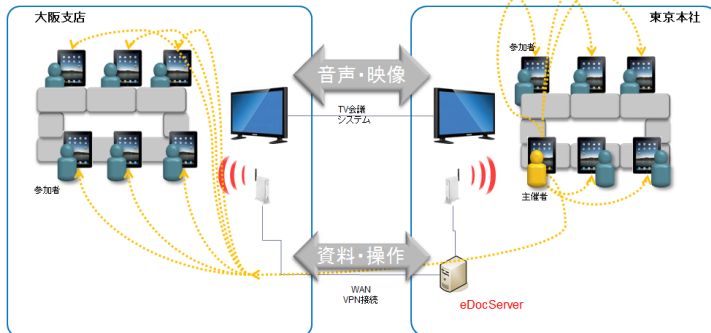
**【端末を限定】**  
サーバーと一対になる接続チケットを持った端末しか会議室には入室できません。他者の侵入を防ぎます。

チケットの発行はスマートセッションユーザーなら誰でも発行できるモードと、管理者権限のユーザーのみ発行できるモードがございます

# その他の利用シーン

## ①拠点間の会議で使用(TV会議と併用)

①拠点間で会議(TV会議と併用)



既存のTV会議システムと併用し、TV会議システムは映像・音声を担当し、「スマートセッション」は資料の表示と操作(ページめくり・手書き・拡大・縮小)を担当することで、離れた拠点間でもその場にいるように、発表内容が伝わりやすい会議を行うことが可能です。

## ②ローカルネットワークで使用(会議室を移動)

①会議準備

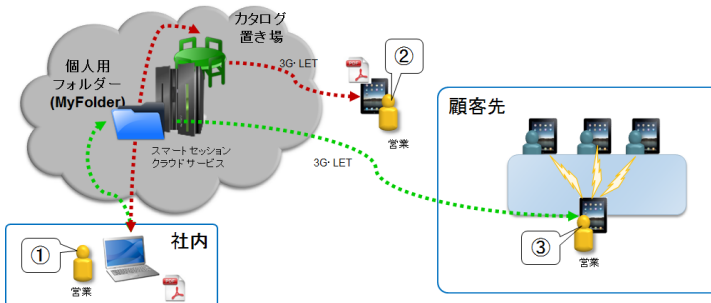


【会議室を移動して使用】

- ① 会議準備はノートPCのLAN端子と接続したネットワークから各参加者がPDF化した資料をアップロード
- ② 会議時にはノートPC、無線ルーター、iPadを会議を行う会議室に持ち込みローカルネットワーク内で会議を行う
- ③ 会議終了後、ノートPCは社内LANに接続し、各参加者は自席のPCがメモ付保存した会議資料を必要に応じてダウンロード

③会議終了後

## ③客先でのプレゼンで使用(クラウド版)



【営業プレゼンで使用】

- ① 社内でプレゼン資料・カタログを自席PCからMyFolder・会議室へアップロード
- ② 外出先でカタログ類をiPadにダウンロード
- ③ iPadを使用してプレゼンテーション(別売:パーソナルエリア会議)

## ④社員研修・セミナーで使用(最大100台)

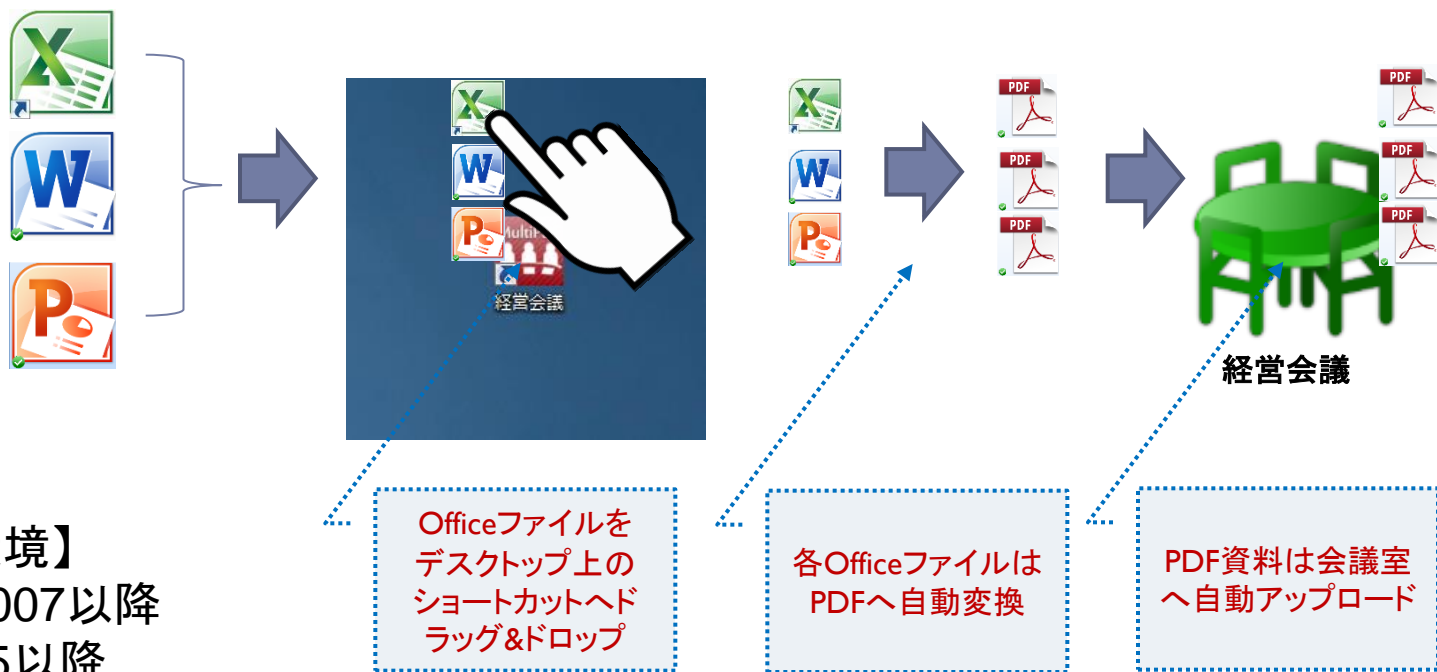


【社員研修・セミナーで使用】

- ① 講師のページは受講者の手元に表示される
- ② 受講者は自分の資料にメモ書きが可能
- ③ 最大50人～100人のページ操作の同期が可能

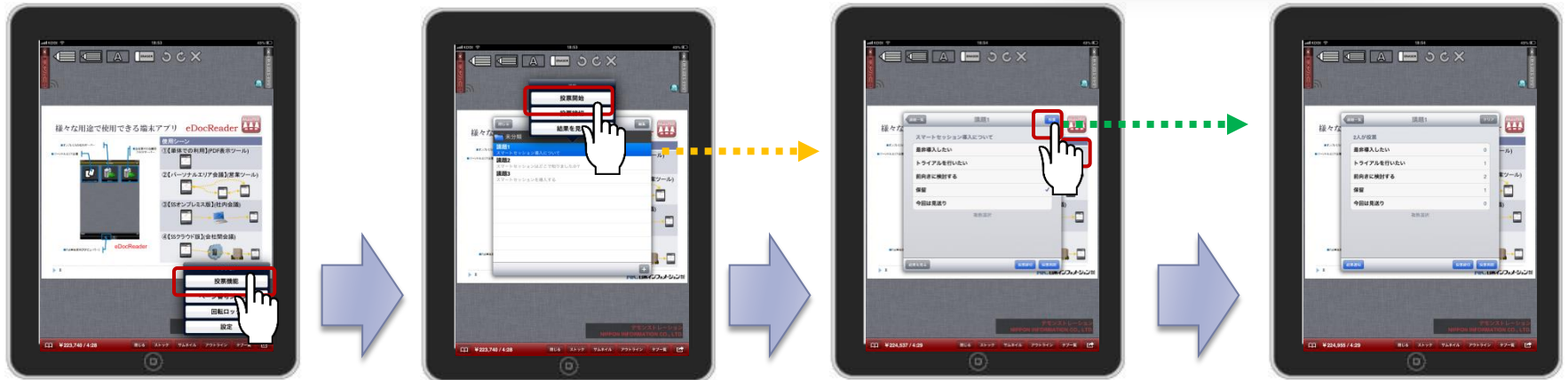
# スマートセッションアップローダー 概要

- ▶ PC上のデスクトップに会議室のショートカットを作成し、そのショートカットにOfficeファイルをドラッグ&ドロップするだけでPDF変換、会議室へのアップロードが行えます



【使用環境】  
Office2007以降  
.NET4.5以降

# 投票・採決機能(オプション)[Ver1.10.0]



投票機能  
選択

質問選択

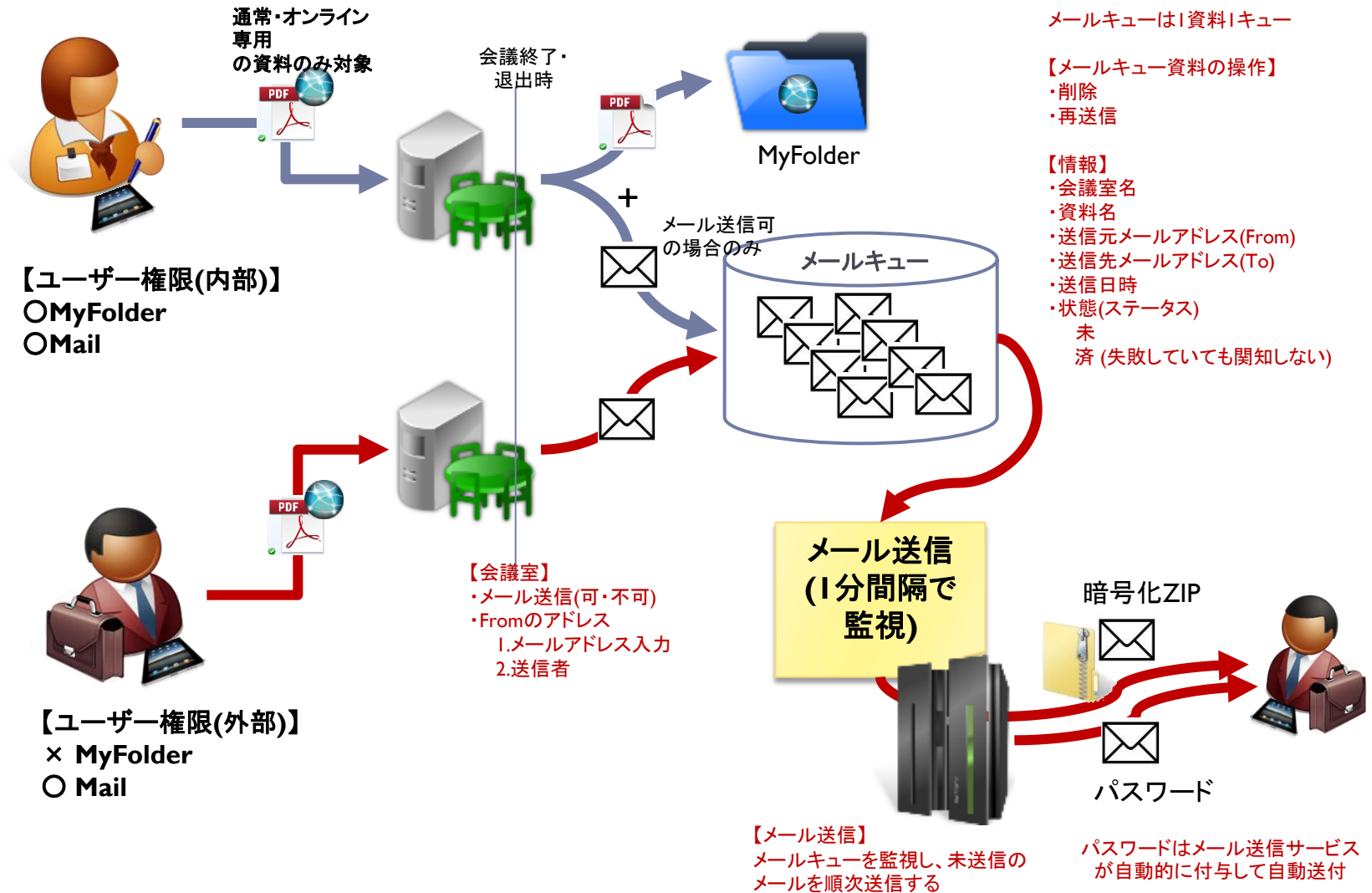
自分も回答

結果表示

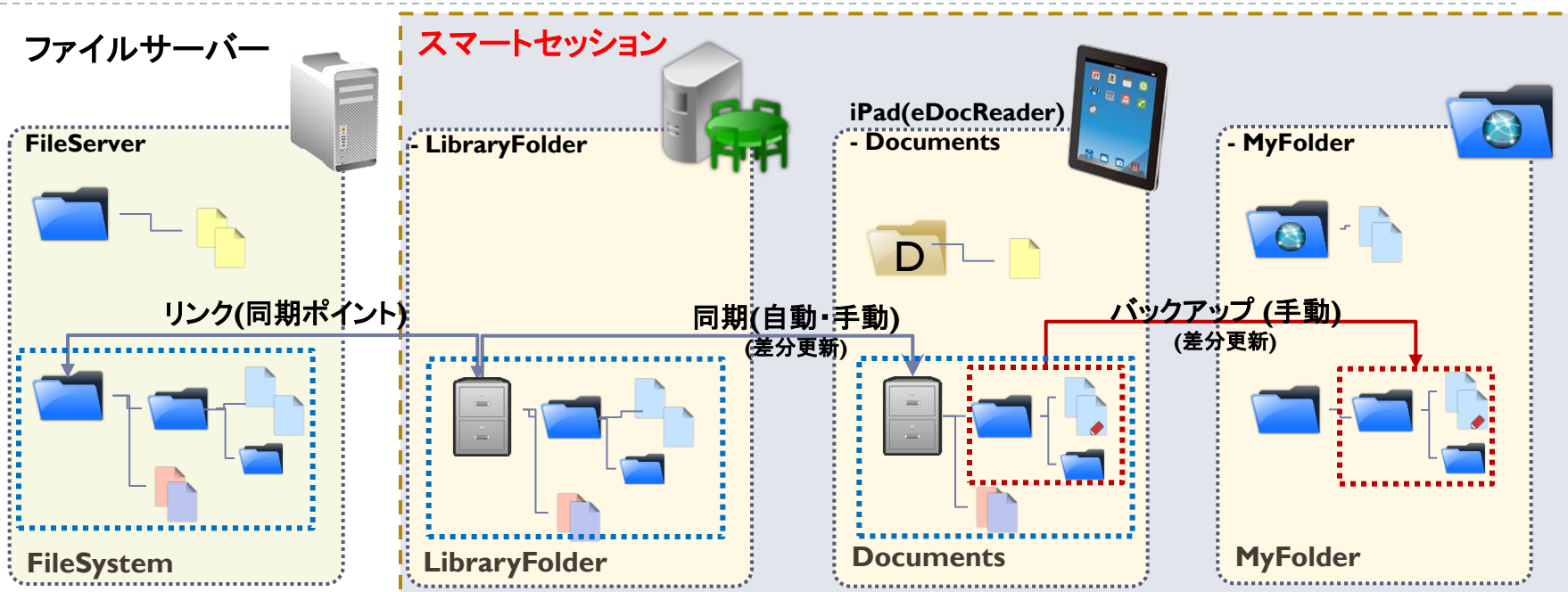


会議参加者

# メール送信機能(オプション) [Ver1.11.0]



# ライブラリ機能(オプション) [Ver1.12.0]



■アクセス権限  
スマートセッションが読み書きできること

フォルダ単位のオプション設定

- 権限  
権限は第一階層のみ設定  
下位階層では上位階層の権限を引継ぐ
  - ・全員(参照・更新) or 個別
  - ・ユーザー別(参照・更新)
- リンク先  
指定のない場合はDB
- 階層構造
- 更新権限をもつユーザーは資料の更新・追加・削除が可能

フォルダ単位のオプション設定

- Libraryを指定することで配下のファイルは自動的に同期される
  - ・ログイン時自動同期
  - ・手動同期
  - ・同期(ON/OFF)
- 同期中にOFFになるといったん停止
- 同期オプション
  - ・単方向(L→D)
- 端末側の資料にメモがある場合の処理
  - ・すべて同期しない、すべて上書き、確認して個別対応

■MyFolderから「Documentsをバックアップ」を選択、バックアップするフォルダを指定。  
配下のファイルがすべてMyFolderへCopyされる

COPYもとに同名のファイルがあった場合は「上書き」「スキップ」「そのまま保存 or 名前を変えて保存」が選択できる

また、「全て上書き」「全てスキップ」「全て名前を変えて保存」も選択可能

◆「→」「MyFolderからインポート」機能  
DocumentからMyFolderへバックアップした資料の戻し (未実装)

# スマートセッションで出来ること①

## 仕様・環境

- サーバーOSはWindows7※1、WindowsServer2008以降、MacOS X 10.6以降、Linux(カーネル2.6以降)に対応しています。(Linux、MacOSをご利用の場合は導入支援サービス必須)
- ユーザー数の上限はありません
- 会議室数の上限はありません(導入形態により制限有)
- 会議室内の資料は最大2000ファイル程度を目安としてください
- 資料は最大20MB迄となります
- 最大同時接続端末数は50台～100台が目安です(無線環境によって左右されます)
- 端末はiOS 6以降をサポートします
- 管理ツール(eDocManager)はHTML5対応のブラウザ※2で使用可能です

## 会議準備

- 会議資料の準備はPCのブラウザ経由で簡単に出来ます
- 会議室の中に過去資料も分類して保管できます
- 基本的な会議資料はPDF形式ですが、参考資料として他の形式(Office文書、iWork文書、動画、画像)のファイルも直接参照可能です
- 会議室を作成できるユーザーを限定することが出来ます(主催権限)

※1 Windows7はクライアントOSの為、Microsoft社のライセンス規約により最大20台までの接続となります

※2 HTML5対応ブラウザ IE7以降、Chrome、Safari、FireFox、Opera等 IEは一部機能制限があります。

# スマートセッションで出来ること②

## 会議中の基本操作

- 参加者は誰でも入室した会議室内資料を表示することが可能です
- 参加者はサムネイル表示や目次表示(アウトライン表示)により自由にページ移動が可能です
- 参加者はストックボタンにより説明者のページ(資料)を別のタブで開き表示することが可能です
- 参加者は自分の端末内の資料を端末から会議室にアップロードすることが可能です
- 説明者のページ操作は参加者に同期されます
- 参加者は誰でも簡単に説明者としてページ操作の主導権を取得することが可能です。
- 参加者の中で説明者になれない(ページ操作の主導権を握れない)参加者を作成することが可能です
- 説明者の手書きメモは参加者の端末にも表示されます
- 説明者のページは参加者に同期しないように参加者側で設定が可能です
- 参加者は説明者とは別に先読み、読み返しが出来ます
- 参加者は説明者とは別の資料を見ることが出来ます
- 参加者はタブ切り替えにより複数の資料を瞬時に切り替えて表示することが可能です
- 参加者は資料にメモ書き(手書きメモ、拡大鏡メモ、キーボード入力)をする事が出来ます
- メモ書きは参加者の端末内に保存し会議終了後でも参照することが出来ます
- メモ書きは参加者の端末内に保存せず、サーバー側の個人フォルダーに保存することが可能です
- 会議終了後でも、資料を持ち帰り見直すことが出来ます
- ホワイトボードなどの写真を撮り、会議資料として端末からその場でPDF化し共有可能です
- 会議中に書類の追加が可能です
- 会議中はリアルタイムに会議費用の表示が可能です



# スマートセッションで出来ること③

## 多様性

- 社内のネットワークに入ることなく会議室に閉じたネットワークを構築しクローズされた中での運用が可能です
- 通常モードとシンプルモードの切り替えが可能で利用者の熟練度に応じた使い分けが可能です
- 拠点が離れていても同期が可能です
- 同時に50人～100人までの同期が可能です(目安)
- 外出先からも3G・LTE回線・VPN経由で利用可能です(推奨利用はWiFi)
- 端末アプリは単体でも表示ツールとして利用できます
- 端末にダウンロードされた資料は他のアプリで開いたり、メールで添付して送信することが可能です
- サーバーがなくても端末同士をBluetoothやWiFiで接続しパーソナルエリア会議で同期が可能です(別途)

## セキュリティ

- マルチプロファイルにより端末を複数用途で切り替えて使用可能です
- 書類単位に3種類のセキュリティレベルを指定できます(端末に書類をダウンロードさせない事も可能です)
- 会議室には登録された人しか入れません
- 会議室は決まった時間(OPEN中)しか入れません。主催者がOPNE/CLOSEを行います。
- 会議室は決まった端末からしかアクセスできません(チケット制度)
- LDAP(AD)連携を行うとログイン認証はLDAP(AD)サーバーを使用します(オプション)(オンプレミス)
- サーバーと端末の間の通信経路はSSLにより暗号化されています(クラウドサービス)
- 会議資料は暗号化されデータベース内に保存されています
- 個人用フォルダ(MyFolder)は会議室サーバーとは別のサーバーに構築することが可能です(オンプレミス)

# 導入費用

初期費用

ランニング費用

※1.価格・仕様は予告なく変更となる場合がございます。  
 ※2.クラウド版は最低契約月数は2ヶ月となります

オンプレミス版

## サーバー費用

- ✓サーバーライセンス  
**¥300,000**
- ✓構築支援費用  
**別途**

※ 構築支援費用はSE作業で発生する  
交通費・宿泊費を含みます

## 端末ライセンス費用

- Standard版 **¥10,000-**
- Pro版 **¥30,000-**
- upgrade版(Standard→Pro) **¥20,000-**
- ゲスト版 **¥10,000-**

※ゲスト版はログアウト時にチケットが自動  
で回収されます

## オプション

- ✓LDAP連携(ログイン認証) **¥200,000**
- ✓会議室数限定解除 **¥50,000**
- ✓Pro版追加サーバー **¥200,000**
- ✓投票機能 **¥150,000**
- ✓メール送信機能 **¥100,000**
- ✓ライブラリ機能 **¥200,000**

## 年間保守サービス

保守費用(2年目以降)[1サーバー]  
**¥120,000**

## 初期導入費用

- ✓専用タイプ  
**¥100,000**
- ✓共用タイプ  
**¥50,000**

クラウド版  
※2

## 月額使用料

### 月額費用

【専用タイプ】 【共用タイプ】

- |              |                |                |
|--------------|----------------|----------------|
| ・基本          | <b>¥75,000</b> | <b>¥30,000</b> |
| ・チケット        | 50枚            | 20枚            |
| ・HDD         | 10GB           | 1GB            |
| ・会議室         | 無制限            | 3室             |
| [オプション拡張による] |                |                |
| ・同時使用        | Max100台        | Max50台         |

## オプション(月額)

- 追加オプション
- ✓チケット 10枚 **¥15,000**
  - ✓HDD 10GB **¥10,000**
  - ✓会議室 5 **¥10,000**

# 導入実績

---

## ▶ 販売期間

- ▶ 2011年7月～2014年3月

## ▶ 販売実績

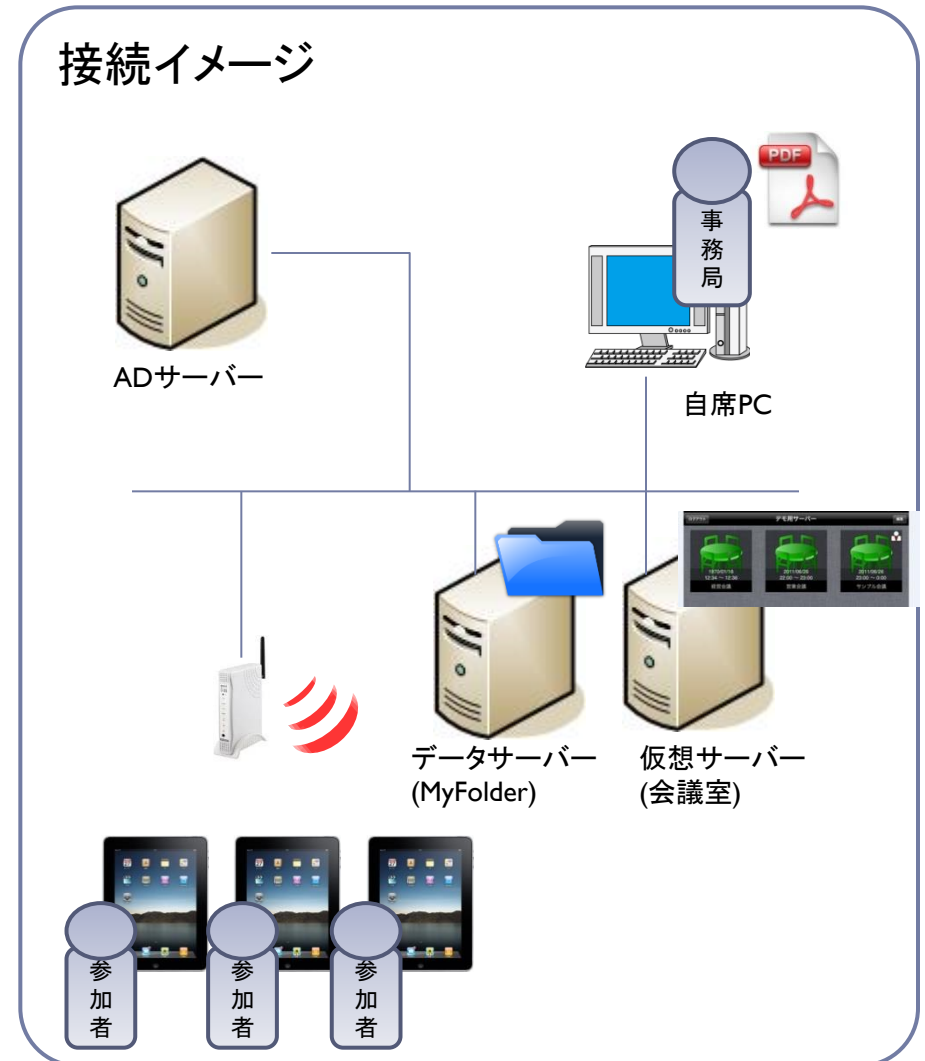
- ▶ 64社、85サーバー、3,023ライセンス販売

## ▶ 導入企業・学校

- ▶ 名古屋大学医学部付属病院 様
- ▶ 萩原電気株式会社 様
- ▶ 株式会社TBSテレビ 様 (事例参照)
- ▶ 国立大学法人 福岡教育大学 様
- ▶ 生活協同組合 コープみえ 様
- ▶ その他 大学、製造業、商社、食品、医療 など 多数

# (事例) TBSテレビ様

- ▶ 用途
  - ▶ 局内20数会議
- ▶ 導入規模・時期
  - ▶ 2012年3月導入
  - ▶ サーバー(仮想サーバー) 5台
  - ▶ 端末 Pro版 300台
  - ▶ ゲストチケット 40枚
- ▶ 導入経緯・使用方法
  - ▶ 会議のスケジュールに合わせてiPadの貸出しと使用会議室の管理を行っており、AD連携やMyFolderなどほぼフル機能を使用している
  - ▶ 外部のゲスト参加者には自動送信メールで資料を配布



# TBSテレビ 導入事例 W/P

<http://news.mynavi.jp/kikaku/2014/03/27/002/>



## 印刷費削減と業務効率化を目指した ペーパーレス会議システムを導入

企業で毎日に行われている会議。そこで使用される資料の量は膨大なものとなっている。そんな中、株式会社TBSテレビ(以下TBS)では、増える一方の印刷コストと煩雑化する会議資料の管理に悩まされていた。その課題を解決する手段として導入されたのが、日本インフォメーション株式会社提供のペーパーレス会議システム「スマートセッション」である。今回は、株式会社TBSテレビ 情報システム局 システム管理部 担当部長 村山氏に、システム導入の経緯と、その効果について解説していただいた。

**印刷コストの削減と  
会議業務の改善が急務に**

テレビ局では、毎日のように数多くの会議が行われているが、それに伴い利用される資料もまた、膨大な量となっていた。そのため「印刷コストの削減と、会議に関する業務の効率化は全社的なミッションとなっていました」と同システム管理部 担当部長の村山氏。

これらの問題を解決する手段として、2010年にペーパーレス会議システムの導入を検討されたこととなったのである。ただ、いきなり導入するのはリスクが高い。そこで同氏は、試験的な導入ができるシステムを探ることとなる。

それから半年間、それぞれ「試を繰り返すようにして」「IT関連の展示会を巡り、その結果同氏は、ようやく安くテスト出来るシステムと出会い、導入実験を行なったのだが、実際にそのシステムを使ってみると「ほとんど使い物にならなかった」といふ。

どこが悪かったのかと尋ねても「すべてが駄目だったとか言い方がない(笑)」と同氏が語るそのシステムは、とにかく使い勝手が悪かったようだ。部内でも不評で「2回くらい使って、その後は誰も使いたがらない状況だった」。

**紆余曲折の末にたどり着いた  
ベストパートナー**

結局、最初の導入テストとしては残念な結果に終わり、同氏は再び新たなシステムの検討を開始した。「正直なところ、これ以上展示会を巡りて、努力をかけるのは避けたい状況でした。そこで、付き合いのあるベンダーさんに、提案してもらおうとしました」。

その結果、いくつか紹介されたシステムの中に、日本インフォメーション株式会社提供のペーパーレス会議システム「スマートセッション」があったのだ。

村山氏はまず、導入するシステムの候補を2つに絞り込んだが、最終的には「スマートセッション」を選択した。その理由は「コスト」だという。「同業とも、当社が求めている機能を満たせるベースを持ったソリューションでした。しかし、コストを比較すると、「スマートセッション」は他製品より大幅に安価であったことが大きな魅力でした」。

実際は、12台のiPadと1台のサーバーを使用して4ヶ月ほど行った。これは「そうか」と感じた村山氏は、日本インフォメーションに対して「スマートセッション」の部分的なカスタマイズを依頼(AD連携と会議)

**「スマートセッション」システム構成図**





## 印刷費削減と業務効率化を目指したペーパーレス会議システムを導入

資料を各自が自分のファイルサーバに保存し、Windows PCでもその資料を開覧出来る機能)これが完了した2011年3月に、本格的にシステムが稼働することとなった。

最終的に「スマートセッション」が導入されることになった理由として、コスト面やレビューの負担以外の要素を挙げている。日本インフォメーションさんのネットワークの軽さ、何よりアットホームな雰囲気があったことが、最終的な決め手だったように感じています。今となっては、日本インフォメーションさんは当社にとっては、ベストパートナーだと断言できます」。

実際に、システム稼働後も社内ユーザーからの評判は上々で、社内アンケートによると利用者の約9割から好評価を得ているとのことだ。

**より多くの人に、より便利に、  
さらなる活用を目指して**

現在、同社ではiPadを150台、サーバーを3台まで拡張し「スマートセッション」を運用している。

導入前と比較すると業務効率は格段に上がったそうだが、「資料を配布する作業は、事前にサーバー上の仮想会議室にファイルを置いておくだけで参加者がiPadから資料を開覧できるうえ、修正が発見した場合でも、ファイルを差し替えれば深目で便利する」また、「会議参加者が急に追加になった時でも、iPadの参加者リストの設定をすぐに変更出来る」など、多くの仕様変更に対応してくれたからである。

一方、最大の課題だった印刷コストの削減については、現在までに検証中とのことだ。

「実は、我々が現在所有しているiPadの台数は、社内で必要とされる数のわずかなパーセント程度です。ですから、まだまだ「全社的なシステム」とは書えません」。

印刷コストの削減効果を定量的に判断できるようにするには、iPadの台数を増やし、より多くの会議で利用できるようにする必要がある。この現状を鑑み、「2014年中に各部署が管理するiPadの使用を許可する事、それに対応出来る電波環境の整備などを目標にしています」。

また、さらに使い勝手を良くするために、村山氏はシステムの拡張を検討しているとのこと。テレビ局の場合、会議に外部のパートナーが参加するケースも多いため、そのような状況にも対応できるように、同社ではゲストとして接続したり、メールでゲストユーザーが資料を送信できるシステムを現在テスト中である。また、資料に手書き入力する機能など「より精度の高いものを求めている」といふ。

「システムを全社的に広げるには、まだまだハードルがたかさんあります。これからは日本インフォメーションさんには、いろいろなお問い合わせすることになるでしょう。しかし、必ずや期待に応えてくれると確信しています」。

**「スマートセッション」の利用イメージ**



**「スマートセッション」導入によりiPadがより活用しやすくなったという**



【お問い合わせ先】  
日本インフォメーション株式会社  
名古屋千種区今治1-8-8  
TEL: 052-741-8753(担当: 製品開発 村山(むらやま) 経理(けいり)) e-mail: prodev@nicnet.co.jp  
製品紹介URL: <http://prodev.nicnet.jp/smartsession/index.html>

# (事例) 福岡教育大学 様

▶ <http://www.fukuoka-edu.ac.jp/view.rbz?cd=711>

ペーパーレス会議を開始しました。

福岡教育大学では、平成24年度から各種会議において、会議のコスト削減を目的としてiPadを用いたペーパーレス会議を開始しました。

このシステムは、教職員個人のIDによりログインすることにより、関連会議に限定した資料の閲覧が可能で、機器を固定することなく、任意のiPadで実施が可能となるのが特長の一つとなっています。また、会議資料をサーバー(クライアントパソコン)で一元管理するため、PDFファイルをアップロードするだけで準備が完了し、直前の資料の差し替えも容易に行えるなど、作業時間が大幅に短縮されました。さらに、会議資料はサーバー上に存在するだけで、iPadへ資料は保存(ダウンロード)しないため、情報漏洩などリスクも事前に回避できるなど、セキュリティ面での強化も図られています。

操作面も、非常にシンプルなもの、最初は、戸惑うものの、紙をめくるのと同様の感覚で直感的に扱え、思ったよりも簡単と好評価でした。会議を運営する担当者からも、「システムの運用も単純で、会議の準備や片付けに費やす労力がかなり減る。」「意識することなく、カラーを用いて分かりやすい資料作りが可能になる。」など感嘆の声もありました。

今後、ペーパーレス会議を活用することで、紙資源のエコ化にも繋がり、会議担当者の業務負担の軽減やコピー代の縮減での費用対効果により、経費も抑制への期待も高まっています。



# 主な利用用途

	業種・業態	利用目的
1	金融機関	理事会、役員会議等で利用
2	学校	理事会、教授会、学部会議、授業等で利用検討
3	公共	局長会議、市議会、局内会議
4	病院・医療関係	教授会、研修
5	通信キャリアからの紹介案件	経営会議、役員会議、部内会議、社員教育、セミナー、記者発表等で利用検討、株主総会
6	その他 (直販・販売代理店からの紹介)	

# まとめ

SmartSessionは「簡単・安心・便利」な  
ペーパーレス会議を実現します  
社内で行う「**ワークフロー改革**」の  
第一歩として最適なソリューションと  
なっております。

## 【お問い合わせ】

企画開発部 製品開発GR 担当幸村(こうむら)・河野(こうの)

[TEL:052-741-8753](tel:052-741-8753) Email : [prodev@nicnet.co.jp](mailto:prodev@nicnet.co.jp)